

環境中濃度による詳細評価

人健康影響

優先通し 番号	物質名称	CAS No	旧指定・ 二監No	旧三監No	生分解性	有害性ク ラス	有害性ク ラス根拠	化審法届出		モニタリング濃度に基づく評価					摂取量内訳						モニタリング濃度								
								今回の優 先度	暴露クラ ス	判定	HQ	D値 [mg/kg/day]	D値根拠	摂取量 [mg/kg/day]	直近5年(平成24～28年度)モニタリングに基づく媒体別摂取量 ※同じ媒体での複数の測定結果がある場合は、最大値を用いて摂取量を計算						直近5年(平成24～28年度)の 大気モニタリング最大濃度			直近5年(平成24～28年度)の 水質モニタリング最大濃度			直近5年(平成24～28年度)の 生物モニタリング最大濃度		
															大気モニタリングに基づく最大 摂取量[mg/kg/day]	水質モニタリングに基づく最大 摂取量[mg/kg/day]	魚類モニタリングに基 づく最大摂取量 [mg/kg/day]				濃度 [μg/m3]	調査名	年度	濃度 [mg/L]	調査名	年度	濃度 [mg/kg]	調査名	年度
	1, 1－ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	75-35-4	378		難	2	一般(経口)	中	5		< 1.4	0.0028	一般(経口)	< 0.0040	0.000024	有害大気	< 0.0040	健康項目			0.059	有害大気	2016	< 0.10	健康項目	2014			
	1－アリルオキシ－2, 3－エポキシプロパン	106-92-3	385		難	3	一般(経口)	低	5		0.00025	0.019	一般(経口)	0.0000047	0.0000047	黒本調査				0.012	黒本調査	2015							
	N, N－ジシクロヘキシルアミン	101-83-7	1084	275	良	2	一般(経口)	低	5		0.0026	0.0033	一般(経口)	0.0000088			0.0000088	要調査					0.00022	要調査	2015				
	N, N－ジメチルアセトアミド	127-19-5	1039		良	4	生殖発生(経口)	中	3		0.046	0.065	生殖発生(経口)	0.0030	0.000088	黒本調査	0.0029	黒本調査		0.22	黒本調査	2014	0.073	黒本調査	2015				
	デカン－1－イルベンゼンスルホン酸	31093-47-7			難	4	一般(経口)	低	4		0.083	0.20	一般(経口)	0.017			0.017	生活環境項目					0.42	生活環境項目	2014				
	ドデシルベンゼンスルホン酸	27176-87-0			難	4	一般(経口)	低	5		0.022	0.50	一般(経口)	0.011			0.011	生活環境項目					0.27	生活環境項目	2014				
	ノニルフェノール	25154-52-3	922	38	難	3	一般(経口)	中	3		0.096	0.025	一般(経口)	0.0024			0.0024	生活環境項目					0.060	生活環境項目	2014				
	ブタン－2－オン＝オキシム	96-29-7	679		難	2	一般(経口)	中	5	<	0.00078	0.0067	一般(経口)	< 0.0000052	< 0.0000052	黒本調査				< 0.013	黒本調査	2014							
	メタクリル酸メチル	80-62-6	1048		良	4	一般(経口)	中	3		0.014	0.13	一般(経口)	0.0018	0.0018	有害大気				4.4	有害大気	2015							
	酢酸2－メトキシエチル(別名エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート)	110-49-6	1041		良	4	生殖発生(経口)	低	4	<	0.000032	0.25	生殖発生(経口)	< 0.0000080	< 0.0000080	黒本調査				< 0.020	黒本調査	2014							
	ニクロム酸ナトリウム	10588-01-9	824	63	難	2	一般(経口)	中	5		0.024	0.0017	一般(経口)	0.000040	0.000040	有害大気				0.10	有害大気	2016							

※要調査項目については平成29年度のデータが得られたことから平成29年度のデータも含めている。

生態影響

優先通し 番号	物質名称	CAS No	旧指定・ 二監No	旧三監No	生分解性	有害性ク ラス	アミン類	化審法届出		モニタリング濃度に基づく評価					モニタリング濃度			有害性不確実係 数積	
								今回の優 先度	暴露クラ ス	判定	PEC/PNEC比	PNEC[mg/L]	PNEC根拠	PEC[mg/L]	直近5年(平成24～28年度)の水質モニタリ ング最大濃度※				UFs
															濃度[mg/L]	調査名	年度		
	N, N－ジシクロヘキシルアミン	101-83-7	1084	275	良	1	アミン類	中	5		0.69	0.00032	藻類・慢性 毒性値	0.00022	0.00022	要調査	2015	50	
	N, N－ジメチルアセトアミド	127-19-5	1039		良	外	外	外	5		0.049	>= 1.5	魚類・急性 毒性値	0.073	0.073	黒本調査	2015	1000	
	α－[(1, 1, 3, 3－テトラメチルブチル)フェニル]－ω－ヒドロキシ ポリ(オキシエチレン)(別名ポリ(オキシエチレン)＝オクチル フェニルエーテル)	9036-19-5		42	難	2		中	4		0.037	0.0030	魚類・急性 毒性値	0.00011	0.00011	黒本調査	2014	1000	
	ヘキサメチレンジアミン	124-09-4	1019		良	3	アミン類	低	5		0.039	0.070	魚類・急性 毒性値	0.0027	0.0027	黒本調査	2016	1000	

※要調査項目については平成29年度のデータが得られたことから平成29年度のデータも含めている。

人の摂取量は、以下の通り求める。 (人の化学物質の推定一日暴露量[mg/kg/day]) EHE = EXPDW + EXPF + EXPA (飲料水からの摂取量[mg/kg/day]) EXPDW = Criver_man*INTKDW/BW (大気からの摂取量[mg/kg/day]) EXPA = CA*INTKA/BW (魚介類中濃度[mg/kg]) Cfish (飲料水摂取量[L/day]) INTKDW = 2 (呼吸量[m3/day]) INTKA=20 (魚介類からの摂取量[mg/kg/day]) EXPF = Cfish*INTKF/(1000*BW) (飲料水中濃度[mg/L]) Criver_man (大気中濃度[mg/m3]) CA (魚介類摂取量[g/day]) INTKF=45.3 (体重[kg]) BW=50
--